

製品安全データシート

作成日 2015年2月28日
改訂日 年 月 日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名 : モクポーオプティガード 20EC
 製造者 : 大日本木材防腐株式会社
 住所 : 愛知県名古屋市港区千鳥一丁目3番17号
 担当部門 : 環境科学資材グループ
 電話番号 : 052-661-1531 FAX番号 : 052-651-3834
 推奨用途 : 木材保存剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 分類できない

健康に対する有害性

- ・ 急性毒性(経口) 区分外 *
- ・ 皮膚腐食性/刺激性 区分3
- ・ 眼に対する重篤な刺激性/眼刺激性 区分2A
- ・ 生殖毒性 区分2
- ・ 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激)

環境に対する有害性

- ・ 水生環境急性有害性 区分1
- ・ 水生環境慢性有害性 区分1

※ 急性毒性(経口)は、20%が毒性が未知の成分からなる。

※ 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報

- 1) 軽度の皮膚刺激
- 2) 強い眼刺激
- 3) 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- 4) 呼吸器への刺激のおそれ
- 5) 水生生物に非常に強い毒性
- 6) 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- 1) 使用前に取扱説明書を手に入ること。

- 2) すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 3) 保護手袋・保護衣・保護面を着用すること。
- 4) ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
- 5) 保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 6) 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 7) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 8) 環境への放出を避けること。

救急措置

- 1) 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 2) 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 3) 眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当てを受けること。
- 4) 吸入した場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 5) ばく露／暴露の懸念がある場合は医師に連絡すること。
- 6) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 7) 漏出物は回収すること。

**保 管
廃 棄
重要な危険有害性**

- 1) 施錠して保管すること。
- 1) 内容物、容器を都道府県知事の規則に従って廃棄すること。
- 1) 河川等に多量に流れ込むと生態系に影響を与える。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

化学名又は一般名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法／安衛法)	C A S 番号
チアメトキサム	2%	C ₈ H ₁₀ ClN ₅ O ₃ S	5-6844	153719-23-4
チアベンダゾール	4%	C ₁₀ H ₇ N ₃ S	9-820, 9-1851	148-79-8
シプロコナゾール	2%	C ₁₅ H ₁₈ ClN ₃ O	5-6266	94361-06-5
溶剤その他	92%	—	—	—

※化学名【一般名】 : 3-[(2-クロロ-1,3-チアゾール-5-イル)メチル]-N-ニトロ-1,3,5-オキサジアジアナン-4-イミシ【一般名:チアメトキサム】
 2-(4'-チアゾリル)ベンズイミダゾール【一般名:チアベンダゾール】
 2-(4-クロロフェニル)-3-シクロピペリル-1-(1H-1,2,4-トリアゾール-1-イル)ピタソ-2-オール【一般名:シプロコナゾール】

4. 応急措置

飲み込んだ場合

- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。医師に連絡すること。
- ・ 可能であれば容器、ラベルまたはこのデータシートを医師に示す。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに、汚染された衣服をすべて脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 医師の手当てを受ける。

- 眼に入った場合
- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 - ・ 直ちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤
使ってはならない消火剤
特有の危険有害性
特有の消火方法
- ・ 噴霧放水、泡、炭酸ガス、砂
 - ・ 棒状注水
 - ・ 火災により刺激性もしくは有毒なガスを発生するおそれがある。
 - ・ 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
 - ・ 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
 - ・ 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
- 消火を行う者の保護
- ・ 消火作業の際は、適切な保護具(手袋・メガネ・マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、
保護具および緊急措置
- ・ 作業者は適切な保護具を着用し、目・皮膚への接触や吸入を避ける。
 - ・ 関係者以外を立ち入らせない。
 - ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法・
器材
- ・ 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 - ・ 危険でなければ漏れを止める。
 - ・ 少量の場合、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)に吸着させて、密閉できる容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策
取扱い注意事項
- ・ 適切な保護具を用意し、着用する。
 - ・ 取扱い時には飲食・喫煙をしない。
 - ・ 製品の漏出・飛散等がないようにする。
 - ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 - ・ 火気注意。
 - ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。

- 保 管
保管条件
- ・ 涼しい所、換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
 - ・ 食品や飼料と区別して、施錠して保管すること。
 - ・ 火気厳禁

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 ・ 適切な排気換気装置を設置する。 						
管理濃度	TWA値 (シンジェンタ社) <table border="0" style="display: inline-table; vertical-align: top; margin-left: 20px;"> <tr> <td>チアメトキサム</td> <td>3mg/m³ (8hr)</td> </tr> <tr> <td>チアベンダゾール</td> <td>10mg/m³ (8hr)</td> </tr> <tr> <td>シプロコナゾール</td> <td>0.5mg/m³ (8hr)</td> </tr> </table>	チアメトキサム	3mg/m ³ (8hr)	チアベンダゾール	10mg/m ³ (8hr)	シプロコナゾール	0.5mg/m ³ (8hr)
チアメトキサム	3mg/m ³ (8hr)						
チアベンダゾール	10mg/m ³ (8hr)						
シプロコナゾール	0.5mg/m ³ (8hr)						
許容濃度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定されていない。 						
保護具							
呼吸器用の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護マスク 						
手の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不浸透保護手袋 						
目の保護具	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴーグル型または全面保護眼鏡 						
皮膚及び身体保護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長袖作業着 						

9. 物理的及び化学的性質

外観	
形状	: 液体
色	: 淡黄色透明
臭い	: マイルドな溶剤臭
pH	: 4.3 (原液) 4.0 (20倍希釈)
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし
燃焼性又は爆発範囲	下限: データなし
	上限: データなし
比重 (密度)	: 1.05 (20℃)
溶解度	: 水に任意の割合で溶解する。
n-オクタノール/水	: チアメトキサム log Pow=-0.13 (25℃)
分配係数	チアベンダゾール log Pow=>2
	シプロコナゾール log Pow=3.1 (25℃)

10. 安定性および反応性

安定性	: 通常取り扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	: 通常条件下では安定
危険有害な分解生成物	: 通常条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 経口	混合物の急性毒性推定値から、区分外とした。 ただし、20%が毒性が未知の成分 (界面活性剤) からなる。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性成分の濃度から、区分3とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼刺激性成分の濃度から、区分 2A とした。
生殖毒性	生殖毒性区分 2 の成分濃度から、区分 2 とした。
特定標的臓器毒性（単回曝露）	区分 3 (気道刺激) を示す成分濃度から、区分 3 とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	区分 1 の成分濃度から、区分 1 とした。
水生環境慢性有害性	区分 1 の成分濃度から、区分 1 とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> 内容物・容器を法律・条例に従って廃棄すること。 廃棄物の処理を依頼する場合、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物に委託する。
汚染容器及び包装	<ul style="list-style-type: none"> 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	<ul style="list-style-type: none"> 該当しない
国内規制 陸上規制	<ul style="list-style-type: none"> 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送情報	<ul style="list-style-type: none"> 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	<ul style="list-style-type: none"> 航空法の規定に従う。
特別の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 容器の破損・漏れがないことを確かめる。 運転に際しては、容器に漏れのないこと及び所定の表示のあることを確かめ、転倒・落下・損傷・荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当しない
消防法	危険物 第 4 類・第三石油類水溶性液体
P R T R 法	チアベンダゾール (2 種 55)

16. その他の情報

連絡先	大日本木材防腐株式会社
参考文献	安全衛生情報センター : MSDS オプティガード 20EC (シンジェンタ社) 製品 MSDS

17. 改訂情報

作成日 2015年2月28日

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いします。